



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5713 URL <https://www.smm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 IRグループ長 (氏名) 豊山 大慈 TEL 03-3436-7705  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	672,132	4.2	64,582	△4.3	46,934	△12.0	45,402	△11.8	64,492	73.1
2020年3月期第3四半期	644,767	△8.3	67,473	△22.2	53,336	△24.0	51,456	△23.0	37,251	△42.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	165.23	165.23
2020年3月期第3四半期	187.26	187.26

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,775,717	1,159,520	1,052,382	59.3
2020年3月期	1,719,690	1,110,860	1,001,946	58.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	78.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	904,000	3.6	103,000	30.3	81,000	33.3	78,000	28.7	283.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	290,814,015株	2020年3月期	290,814,015株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	16,036,509株	2020年3月期	16,032,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	274,779,885株	2020年3月期3Q	274,785,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2020年11月9日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料は、2021年2月8日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(事業セグメント) .....	14
3. 補足情報 .....	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	税引前四半期利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益
当第3四半期連結累計期間	672,132	64,582	45,402
前第3四半期連結累計期間	644,767	67,473	51,456
増減	27,365	△2,891	△6,054
増減率(%)	(4.2)	(△4.3)	(△11.8)

(海外相場、為替)

	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
銅	\$/t	5,933	6,345	412
金	\$/TOZ	1,421.7	1,832.2	410.5
ニッケル	\$/lb	6.54	6.41	△0.13
為替(TTM)	円/\$	108.68	106.12	△2.56

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束していないことなどを背景に、景気が減速基調で推移しました。

為替相場については、欧米などで当該感染症が再拡大したことに加え、米国での長期金利低下や金融緩和策によるドル需給の緩和などから、円高ドル安傾向で推移したことで、平均為替レートは前年同期間と比べ円高となりました。

主要非鉄金属価格につきましては、銅及びニッケル価格は、当該感染症の拡大を受け前年度末にかけ下落しましたが、中国経済が回復していることなどを背景に上昇基調で推移しました。金価格は、当該感染症の影響による世界経済の先行き不透明感により第2四半期連結会計期間をピークに上昇基調で推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の銅及び金価格は前年同期間を上回り、ニッケル価格は、回復基調ではあるものの平均価格では前年同期間を下回りました。

材料事業の関連業界におきましては、当該感染症の拡大による経済活動の停滞を受け、当社の車載用電池向け部材は需要が一時的に低迷し販売は伸び悩みました。スマートフォン市場は、当該感染症の拡大による影響を受け一部の部材で在庫調整があったものの、第5世代移動通信システム(5G)の進展などにより需要に回復の兆しが出てきました。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、ニッケル価格が前年同期間を下回ったことに加え、電池材料事業での一時的な生産調整による減販などはあったものの、銅及び金価格が前年同期間を上回ったことなどにより、前年同期間に比べ273億65百万円増加し、6,721億32百万円となりました。

連結税引前四半期利益は、増収となったものの、海外銅鉱山における当該感染症の拡大の影響などにより持分法による投資損益が悪化したこと、及び前第3四半期連結会計期間には土地及び建物の売却に伴う一時的な利益の計上があったことによりその他の収益が悪化したこと、並びに円高による為替差損益の変動などで金融費用が増加したことなどにより、前年同期間に比べ28億91百万円減少し、645億82百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、連結税引前四半期利益が減少したことにより、前年同期間に比べ60億54百万円減少し、454億2百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(資源セグメント)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	80,471	96,284	15,813	19.7
セグメント利益	24,983	35,693	10,710	42.9

セグメント利益は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売量の減少および、ケブラダ・ブランカ銅鉱山(チリ)における建設中断期間の費用計上などにより持分法による投資損益の悪化があったものの、金価格の上昇などにより、前年同期間を上回りました。

主要鉱山の概況は以下のとおりであります。

菱刈鉱山は年間販売金量6tに向け順調な操業を継続しており、販売金量は5tとなりました。

モレンシー銅鉱山(米国)の生産量は、前年同期間並みの343千tとなりました(うち非支配持分を除く当社権益は25%)。

セロ・ベルデ銅鉱山(ペルー)の生産量は、当該感染症の拡大に伴う国家非常事態宣言を受け、保安操業を実施した影響などにより前年同期間を下回り、272千tとなりました(うち非支配持分を除く当社権益は16.8%)。

シエラゴルダ銅鉱山(チリ)の生産量は、鉱石処理量の増加などにより前年同期間を上回り、109千tとなりました(うち非支配持分を除く当社権益は31.5%)。

(製錬セグメント)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	455,177	488,566	33,389	7.3
セグメント利益	41,348	34,734	△6,614	△16.0

(当社の主な製品別生産量)

製品	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
銅	t	285,573	331,566	45,993
金	kg	12,627	12,540	△87
電気ニッケル	t	44,499	41,054	△3,445
フェロニッケル	t	10,477	10,127	△350

(注) 生産量には、受委託分を含めて表示しております。

セグメント利益は、銅価格及び金価格は上昇したものの、前年同期間には土地及び建物の一時的な売却益の計上があったことなどにより、前年同期間を下回りました。

電気銅の生産量及び販売量は前年同期間を上回りました。電気ニッケルの生産量は前年同期間を下回りましたが、販売量は前年同期間並みとなりました。

Coral Bay Nickel Corporationの生産量は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は軽微であり、前年同期間並みとなりました。Taganito HPAL Nickel Corporationでは、当該感染症拡大の影響を受けて予定休転期間が一部長期化しました。休転後は概ね計画どおりに操業を行いましたが生産量は前年同期間を下回りました。

(材料セグメント)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	166,049	167,670	1,621	1.0
セグメント利益	5,663	6,151	488	8.6

セグメント利益は、電池材料等では一時的な生産調整により販売量が減少しましたが、粉体材料等において前年同期間と比較し販売量が増加したことなどにより、前年同期間を上回りました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	1,719,690	1,775,717	56,027
負債合計	608,830	616,197	7,367
資本合計	1,110,860	1,159,520	48,660

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ増加しました。PT Vale Indonesia Tbk (当社関連会社、製錬セグメント、インドネシア共和国所在) 株式の一部売却に伴い同社を持分法関連会社から除外したことにより、持分法で会計処理されている投資が減少したものの、同社株式のその他の金融資産への振替及び保有株式の価格上昇などにより、その他の金融資産が増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ増加しました。借入金の返済により社債及び借入金が減少したものの、PT Vale Indonesia Tbk株式のその他の金融資産への振替後の期末時価評価などにより繰延税金負債が増加し、また、営業債務及びその他の債務が増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は前連結会計年度末に比べ増加しました。その他の資本の構成要素のうち在外営業活動体の換算差額が円高の影響により減少したものの、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産が保有株式の価格上昇により増加しました。また、四半期利益を計上したことにより利益剰余金が増加しました。

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,832	54,213	△23,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,044	△29,044	31,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,534	△41,642	△55,176
換算差額	△1,340	△4,625	△3,285
現金及び現金同等物の期首残高	81,261	155,530	74,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,243	134,432	23,189

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、営業債務及びその他の債務の増加があったものの、営業債権及びその他の債権が増加したことや、棚卸資産の増加額が前年同期間に比べて多かったことから、前年同期間に比べて収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却収入が減少したものの、前年同期間のケブラダ・ブランカ銅鉱山(チリ)への参入などに伴う関係会社株式の取得による支出が減少するとともに、PT Vale Indonesia Tbk株式の一部売却などの関係会社株式の売却による収入が増加したことなどから前年同期間に比べて支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間にあった長期借入れによる収入、及び社債の発行による収入が当期間はなかったこと、長期借入金の返済による支出が増加したことなどから、当期間は支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	税引前当期利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
2021年3月期(予想)	904,000	103,000	81,000	78,000
2020年3月期(実績)	872,615	79,035	60,752	60,600
増減	31,385	23,965	21,248	17,400
増減率(%)	3.6%	30.3%	33.3%	28.7%

(海外相場、為替予想)

		A	B	(A, B加重平均)
	単位	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	第4四半期 (予想)	2020年度 (予想) 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日
銅	\$/t	6,345	7,500	6,634
金	\$/TOZ	1,832.2	1,850.0	1,836.6
ニッケル	\$/lb	6.41	7.25	6.62
為替(TTM)	円/\$	106.12	104.00	105.59

当社グループをとりまく事業環境のうち、非鉄金属業界につきましては、銅及びニッケルともに新型コロナウイルス感染症による需要縮小からの回復が供給に比して遅れ、若干の供給過多で推移するものと見込まれております。銅価格及びニッケル価格は、いずれも需給バランスに沿った適正水準を維持するものと予想されます。

材料事業の関連業界におきましては、車載・通信分野ともに新型コロナウイルス感染症による需要縮小は底を打ち、一部部材で一時的な調整はあるものの、中長期的には需要は堅調に推移すると見込んでおります。

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済環境の先行き不透明感が残るものの、現時点で合理的と考えられる範囲の想定を元に、主要な非鉄金属価格は足元の水準を考慮の上で将来の需給バランスを予測して見直し、為替は足元の動向を踏まえて見直しました。また主要製品の生産量及び販売量は足元の実績を踏まえて見直しました。前回予想(2020年11月9日)に比べ、金価格は下回ることが見込まれるものの、銅価格及びニッケル価格は上回る水準で推移することが見込まれます。その結果、連結売上高は9,040億円、連結税引前利益は1,030億円、連結当期利益は810億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は780億円と予想しております。

## 2021年3月期通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	資源	製錬	材料	計	その他	調整額	計
売上高	127,000	649,000	232,000	1,008,000	10,000	△114,000	904,000
セグメント利益	65,000	45,000	9,000	119,000	△3,000	△13,000	103,000

ご参考：2021年3月期通期 連結業績予想(11月9日公表数値)

(単位：百万円)

	資源	製錬	材料	計	その他	調整額	計
売上高	125,000	607,000	228,000	960,000	10,000	△112,000	858,000
セグメント利益	43,000	34,000	5,000	82,000	△2,000	△13,000	67,000

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	155,530	134,432
営業債権及びその他の債権	123,393	144,071
その他の金融資産	8,959	7,386
棚卸資産	252,799	302,187
その他の流動資産	20,541	21,200
流動資産合計	561,222	609,276
非流動資産		
有形固定資産	463,405	443,132
無形資産及びのれん	58,338	54,941
投資不動産	3,428	3,477
持分法で会計処理されている投資	365,090	310,692
その他の金融資産	241,957	331,051
繰延税金資産	8,466	8,143
その他の非流動資産	17,784	15,005
非流動資産合計	1,158,468	1,166,441
資産合計	1,719,690	1,775,717

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	104,803	118,659
社債及び借入金	80,656	109,724
その他の金融負債	5,019	7,387
未払法人所得税等	4,687	14,478
引当金	4,392	2,669
その他の流動負債	6,753	10,951
流動負債合計	206,310	263,868
非流動負債		
社債及び借入金	316,847	257,029
その他の金融負債	11,705	12,367
引当金	21,708	19,706
退職給付に係る負債	14,024	11,168
繰延税金負債	37,394	51,420
その他の非流動負債	842	639
非流動負債合計	402,520	352,329
負債合計	608,830	616,197
資本		
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	87,598	87,692
自己株式	△38,002	△38,016
その他の資本の構成要素	△94	21,652
利益剰余金	859,202	887,812
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,001,946	1,052,382
非支配持分	108,914	107,138
資本合計	1,110,860	1,159,520
負債及び資本合計	1,719,690	1,775,717

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	百万円	百万円
売上高	644,767	672,132
売上原価	△557,708	△571,899
売上総利益	87,059	100,233
販売費及び一般管理費	△36,179	△33,652
金融収益	10,444	10,257
金融費用	△6,545	△10,906
持分法による投資損益 (△は損失)	5,456	△341
その他の収益	11,341	4,197
その他の費用	△4,103	△5,206
税引前四半期利益	67,473	64,582
法人所得税費用	△14,137	△17,648
四半期利益	53,336	46,934
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	51,456	45,402
非支配持分	1,880	1,532
四半期利益	53,336	46,934
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	187.26	165.23
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	187.26	165.23

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	53,336	46,934
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,738	36,818
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	65	11
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,803	36,829
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△976	△881
在外営業活動体の換算差額	△8,692	△14,575
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△8,220	△3,815
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△17,888	△19,271
税引後その他の包括利益	△16,085	17,558
四半期包括利益	37,251	64,492
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	37,551	67,118
非支配持分	△300	△2,626
四半期包括利益	37,251	64,492

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月1日時点の残高	93,242	87,598	△37,983	△18,573	631	43,698
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	△1,045	—	—
会計方針の変更を反映した2019年4月1日時点の残高	93,242	87,598	△37,983	△19,618	631	43,698
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△14,743	△965	1,803
四半期包括利益合計	—	—	—	△14,743	△965	1,803
自己株式の取得	—	—	△14	—	—	—
自己株式の処分	—	0	0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	△9
所有者との取引額合計	—	0	△14	—	—	△9
2019年12月31日時点の残高	93,242	87,598	△37,997	△34,361	△334	45,492

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	合計	利益剰余金	合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2019年4月1日時点の残高	—	25,756	878,948	1,047,561	103,719	1,151,280
会計方針の変更による累積的影響額	—	△1,045	△56,330	△57,375	—	△57,375
会計方針の変更を反映した2019年4月1日時点の残高	—	24,711	822,618	990,186	103,719	1,093,905
四半期利益	—	—	51,456	51,456	1,880	53,336
その他の包括利益	—	△13,905	—	△13,905	△2,180	△16,085
四半期包括利益合計	—	△13,905	51,456	37,551	△300	37,251
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	△14
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	△16,762	△16,762	△2,795	△19,557
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	9,597	9,597
利益剰余金への振替	—	△9	9	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△9	△16,753	△16,776	6,802	△9,974
2019年12月31日時点の残高	—	10,797	857,321	1,010,961	110,221	1,121,182

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月1日時点の残高	93,242	87,598	△38,002	△26,376	△916	27,198
四半期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	△14,101	△1,012	36,829
四半期包括利益合計	-	-	-	△14,101	△1,012	36,829
自己株式の取得	-	-	△15	-	-	-
自己株式の処分	-	0	1	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-
支配継続子会社に対する持分変動	-	-	-	-	-	-
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	-	-
利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	30
その他	-	94	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	94	△14	-	-	30
2020年12月31日時点の残高	93,242	87,692	△38,016	△40,477	△1,928	64,057

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	合計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月1日時点の残高	-	△94	859,202	1,001,946	108,914	1,110,860
四半期利益	-	-	45,402	45,402	1,532	46,934
その他の包括利益	-	21,716	-	21,716	△4,158	17,558
四半期包括利益合計	-	21,716	45,402	67,118	△2,626	64,492
自己株式の取得	-	-	-	△15	-	△15
自己株式の処分	-	-	-	1	-	1
配当金	-	-	△16,762	△16,762	△1,094	△17,856
支配継続子会社に対する持分変動	-	-	-	-	1,916	1,916
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	28	28
利益剰余金への振替	-	30	△30	-	-	-
その他	-	-	-	94	-	94
所有者との取引額合計	-	30	△16,792	△16,682	850	△15,832
2020年12月31日時点の残高	-	21,652	887,812	1,052,382	107,138	1,159,520

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	67,473	64,582
減価償却費及び償却費	33,137	34,430
有形固定資産売却損益(△は益)	△9,150	△84
持分法による投資損益(△は益)	△5,456	341
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△844	△1,016
引当金の増減額(△は減少)	△2,757	△4,160
金融収益	△10,444	△10,257
金融費用	6,545	10,906
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	17,958	△21,405
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,855	△50,628
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△16,612	22,464
前渡金の増減額(△は増加)	△1,583	3,141
未払消費税等の増減額(△は減少)	707	591
その他	6,071	2,293
小計	73,190	51,198
利息の受取額	2,597	2,566
配当金の受取額	11,449	11,097
利息の支払額	△4,531	△2,877
法人所得税の支払額	△6,419	△7,849
法人所得税の還付額	1,546	78
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,832	54,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,533	△21,400
定期預金の払戻による収入	6,816	21,085
有形固定資産の取得による支出	△34,031	△31,937
有形固定資産の売却による収入	10,769	265
無形資産の取得による支出	△517	△620
関係会社株式の取得による支出	△37,440	△4,600
関係会社株式の売却による収入	—	9,943
短期貸付金の回収による収入	258	249
長期貸付けによる支出	△1,135	△2,034
長期貸付金の回収による収入	1,534	33
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出	—	△249
その他	235	221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,044	△29,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	145,558	208,656
短期借入金の返済による支出	△149,960	△210,934
長期借入れによる収入	27,479	—
長期借入金の返済による支出	△18,119	△22,060
社債の発行による収入	19,884	—
非支配株主からの払込みによる収入	9,598	1,916
配当金の支払額	△16,762	△16,762
非支配持分への配当金の支払額	△2,795	△1,094
その他	△1,349	△1,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,534	△41,642

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	百万円	百万円
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	31,322	△16,473
現金及び現金同等物の期首残高	81,261	155,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,340	△4,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,243	134,432

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (事業セグメント)

## (1) 報告セグメントの概要

## ① 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は製品・サービス別に事業を行うために、事業部門として、資源事業本部、金属事業本部、電池材料事業本部、機能性材料事業本部の4つの事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、当社及び所管する連結子会社と持分法適用会社を通じて、事業活動を展開しております。なお、当社は、事業の性質や対象顧客等に関して類似の経済的特徴を有しており、製品及びサービスの性質等のすべての要素において類似していると認められる電池材料事業本部と機能性材料事業本部について、事業セグメントを集約しております。資源事業を「資源」に、金属事業を「製錬」に、電池材料事業及び機能性材料事業を「材料」にそれぞれ区分することで、当社の主たる事業である「資源」、「製錬」、「材料」の3つを報告セグメントとしております。

## ② 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「資源」セグメントでは、国内及び海外における非鉄金属資源の探査、開発、生産及び生産物の販売を行っております。

「製錬」セグメントでは、銅、ニッケル、フェロニッケル、亜鉛等の製錬、販売及び金、銀、白金、パラジウム等の貴金属の製錬、販売等を行っております。

「材料」セグメントでは、電池材料（水酸化ニッケル、ニッケル酸リチウム等）、ペースト、粉体材料（ニッケル粉等）、結晶材料（タンタル酸リチウム基板、ニオブ酸リチウム基板等）、テープ材料等の製造、加工及び販売、自動車排ガス処理触媒、化学触媒、石油精製脱硫触媒、軽量気泡コンクリート等の製造及び販売を行っております。

## (2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、各セグメントにおける財政状態計算書上で設定された社内借入金に対して、各事業セグメントに金利相当を計上していることを除き、要約四半期連結財務諸表作成のための会計方針と概ね同一であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	資源	製錬	材料	計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高								
外部売上高	60,735	429,544	151,465	641,744	3,023	644,767	—	644,767
セグメント間 売上高	19,736	25,633	14,584	59,953	4,046	63,999	△63,999	—
合計	80,471	455,177	166,049	701,697	7,069	708,766	△63,999	644,767
セグメント利益	24,983	41,348	5,663	71,994	219	72,213	△4,740	67,473

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない本社部門所管のその他の収益を稼得する事業活動であります。不動産事業、エンジニアリング事業等が含まれます。

2. セグメント利益の調整額△4,740百万円は、セグメント間取引消去と報告セグメントに帰属しない金融収益及び費用等であります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の税引前四半期利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	資源	製錬	材料	計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高								
外部売上高	54,222	462,517	152,368	669,107	3,025	672,132	—	672,132
セグメント間 売上高	42,062	26,049	15,302	83,413	4,103	87,516	△87,516	—
合計	96,284	488,566	167,670	752,520	7,128	759,648	△87,516	672,132
セグメント利益	35,693	34,734	6,151	76,578	△426	76,152	△11,570	64,582

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない本社部門所管のその他の収益を稼得する事業活動であります。不動産事業、エンジニアリング事業等が含まれます。

2. セグメント利益の調整額△11,570百万円は、セグメント間取引消去と報告セグメントに帰属しない金融収益及び費用等であります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の税引前四半期利益と調整を行っております。

4. 従来「調整額」に含まれていたSMM Holland B.V.について、組織変更に伴い、前第4四半期連結会計期間より「資源」に報告セグメントを変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 補足情報

## 主な製品別売上数量・単価・売上高(当社)

部門	製品	単位	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	2020年度 (予想)
資源	金銀鉱  (金量)	t	109,034	147,053
		千円/DMT	273	239
		百万円	29,786	35,272
		(kg)	(5,032)	(6,000)
製錬	銅	t	337,686	437,386
		千円/t	687	711
		百万円	232,067	310,977
	金	kg	13,126	17,501
		円/g	6,265	6,245
		百万円	82,232	109,296
	銀	kg	151,157	201,257
		千円/kg	74	76
		百万円	11,156	15,365
ニッケル	t	52,562	68,175	
	千円/t	1,506	1,553	
	百万円	79,166	105,877	
材料	機能性材料等	百万円	113,545	157,968

(注) 1. 当社は、主要製品の受注生産比率が少なく、主として見込生産によっております。

2. ニッケルには、フェロニッケルを含めて表示しております。